

2021-2022年度地区運営について

第1 はじめに

新型コロナは世界的に第2波、第3波が押し寄せており、感染状況が続いています。我が国では2020年4月に全国的に緊急事態宣言が出され、当地区の全クラブが例会開催を見送りました。同宣言が解除された後、例会が徐々に復活しましたが、本年1月には首都圏等に2回目の緊急事態宣言が出され、当地区のクラブも再度、例会を休会する事態となりました。また、パンデミックのため、本年2月にアメリカ・フロリダ州で開催予定の国際協議会はオンライン方式に変更され、大会や各種セミナーの全てがパソコンの画面越しで行われ、また、本年5月に台湾で開催予定された国際大会も、昨年と同様、バーチャル開催が決められました。来る2021～2022年度においても、ワクチン接種等でコロナが収束しない限り、制限された中での例会運営や地区行事の開催とならざるを得ません。

しかし、ピンチはチャンスでもあります。ロータリーの長い歴史において、先人達は様々な危機に直面しそれを乗り越えてきました。私たちは、新型コロナに負けないロータリーを運営し、また、そうすることでロータリーの価値を再認識すべきではないでしょうか。

ロータリーを創設したポール・ハリスは「私のロータリー構想は進化発展の途上にあり、時には革命的でもありました」と述べています。ロータリーが様々な時代を超えて発展したのは、時代や世界の変化を嫌うのではなく、それに果敢に挑戦する勇気と決断があったからです。私たちは、コロナを嘆くのではなく、また、前例に縛られることなく、コロナでもたらされたニュー・ノーマルをロータリーに導入しつつ、奉仕の理念を実践する新たな旅に出る覚悟が必要になると思います。

次年度のRIシェカール・メータ会長の掲げたテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(「Serve to change lives」)です。どのような困難な状況であっても、私たちロータリーが奉仕団体であるというDNAを忘れず、社会や世界を変革する奉仕活動を展開させようと呼びかける力強いテーマです。そして、当地区の次年度のスローガンを「奉仕の理念を掲げ、新たな旅に出よう」(Let's go on a new journey with the ideal of service)と決めました。これは我が国のロータリーが設立されて第2世紀に入ること、そして、ロータリーは時代の変化を嫌うのではなく、革新性を身につけ、変化に適応力を高めること、また、リーダーシップが旅に例えられるように、今こそ、ロータリーの住み慣れた日常から一歩前に入る勇気と実践が必要になると思ったからです。

RIは、2016年の規定審議会で、クラブ細則で定めれば、例会開催や出席要件、会員要件を緩和し、会員種別を多様化することができるようになりました。ロータリーという巨

大きな船が、新たな目的地に向けて大きく舵を切ったのです。これによりクラブ運営の柔軟化や革新性の導入が可能となりました。また、RIは2019年にビジョン声明に基づく4つの優先事項から構成される行動計画を策定し、5年間に渡ってその実施が推奨され、加えて「多様性、公平さ、開放性に関する指針」も発表されています。さらに当地区としても2020～2023年の第3期地区戦略計画を策定し、実施されています。

このように並べると私たちに与えられた課題は多いように思えます。しかし、それらの目的は会員が意欲に溢れ、元気で魅力あるクラブにすること集約されます。会員が例会や奉仕活動を通じてロータリアンであることに魅力を感じ、誇れることが一丁目一番地です。

コロナ禍であっても、いやwithコロナであるからこそ、例会等にZOOMを導入する等、革新的で、柔軟で、前向きなクラブ環境が整えられています。来年度の地区運営としてもそうした観点からクラブをサポートしていきたいと思えます。

ところで、シェカール・メータ次期会長の強調事項に会員増強があり、強力に推奨される施策です。他方、コロナによる各種の制限や経済状況等で疲弊する会員も多くおり、退会者の増加も懸念される所です。そこで、クラブとして、クラブ細則の改正によるクラブ運営の柔軟化、革新性を導入し、できる限りの支援策を工夫していただくようお願いいたします。共にロータリアンとして会員同士の親睦(友情)と奉仕の実践をお願いいたします。

第2 RI方針について

◇ シェカール・メータ次期会長のテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(「Serve to change lives」)

◇ 強調事項(「DO MORE, GROW MORE」)

(1) 会員増強

- ・「みんなが一人を入会させよう」(Each One, Bring One)を強調し、2022年7月1日までに世界のロータリアン数を130万人にする。

※すべてのクラブが会員増強の目標をクラブ・セントラルに

- ・既存会員と新会員の維持に全力を尽くす。
- ・各地区が少なくとも二つのロータリークラブを作る。

※新クラブ設立に苦勞する地区においては、これまでとは異なる種類のクラブを作る。

- ・若い人と女性をクラブに招き入れ、また、ローターアクターの入会を促す。

(2) 奉仕活動・公共イメージ活動

- ・女兒のエンパワメントを行う(女兒の教育、健康、経済的発展を確保し、より良い機会のためのスキルを与え、児童婚、十代の妊娠をなくすこと、人身売買、虐待、暴力をやめさせること)。

- ・すべてのロータリアンはロータリーのブランド大使であり、全ロータリアンがソーシャルメディアでストーリーをシェアする(私たちのストーリーを伝えることは、活動そのものと同じくらいに重要です)。
- ・ストーリーテリングの方法を活かした7つの重点分野に特化した会長主催会議を世界各地で開催する。
- ・二つ以上のクラブ(アクトを含む)がボランティア機会を会員、家族、友人に提供する「ロータリー奉仕デー」を開催し、ロータリーの活動を世界に示す。

第3 地区の目標

(1) ロータリーのインパクトを高める。

- ・10月24日の世界ポリオデーに合わせたイベントを開催する。
- ・地区活動補助金、グローバル補助金を活用した奉仕活動を行う。
- ・クラブのホームページやSNS利用による広報活動を推進する。
- ・複数クラブ共同イベントの「ロータリー奉仕デー」を支援する(新企画)。
- ・2022年2月23日のロータリー創立記念日にチャリティーコンサートを行う(新企画)。

(2) クラブの参加基盤を強化する。

- ・既存会員と新会員を維持し、クラブ会員数を1名以上純増する。
- ・女性会員と40歳以下の会員が入会しやすい環境を作る。
- ・クラブの未来(戦略)計画【ビジョン・行動計画】を策定し、実践する。

※ガバナー補佐は計画の作成を支援する。

- ・革新的なクラブ(衛星クラブ等)の設立をめざす。
- ・年度開始前の6月30日までにクラブ・セントラルに13項目以上の目標を入力する。

(3) 会員の積極的な関わりを促す。

- ・会員のロータリー学習を推奨する。
- ・地区主催の次世代リーダーセミナーを実施する(新企画)。
～研修を充実させ、ロータリーの魅力発見を支援をする～
- ・ロータリー奉仕デーをIMとして実施することを推奨する。
- ・コロナ感染状況を踏まえつつ、クラブ間の交流を促進させる。
- ・ローターアクトとの連携を強める。

(4) クラブの適応力を高める。

- ・クラブ運営に柔軟性を導入し、運営の選択肢を増やす。
- ・クラブ細則の戦略的利用を促進する。
- ・クラブ運営(例会や理事会等)にオンライン技術を取り入れる。

- ・クラブ活性化ワークショップを開催する(新企画)。
- ・マイロータリー登録を推進し、地区の平均登録率50%をめざす。
- ・革新的クラブ(衛星クラブ等)の設立をめざす。

(5) 2021～2022年度の年間数値目標

1. 会員増強 各クラブ純増1名以上
2. マイロータリー登録率 50%以上
3. ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付
 - ・ロータリー財団への支援
 - 年次基金への寄付 1人150ドル以上
 - ポリオプラスへの寄付 1人30ドル以上
 - ・米山記念奨学会への支援 1人16,000円以上